

て、眞宗東派に屬する。初め石川郡押野に之を建立したといふ。

ジヨウケウジ 上宮寺 金澤五寶町に在つて、眞宗西派に屬する。初め石川郡押野村に居たが、慶長中今の地に轉じたといふ。

ジヨウケウジ 上宮寺 江沼郡直下に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年五月寺號の公稱を許された。

ジヨウケウジ 上宮寺 能美郡小松細工町に在つて、眞宗西派に屬する。初め石川郡押野に居たが、寛永中に至り今の地に轉じたといふ。

ジヨウケウジヤブ 上宮寺 石川郡押野庄押野村領の内に上宮寺敷といふがあつて、昔上宮寺のあつた跡であると寶永誌に記してある。金澤石坂の瑞泉寺も、木倉町の上宮寺も、五寶町の上宮寺も、能美郡小松の上宮寺も、皆もと押野の上宮寺であつたと傳へてゐる。

シヨウクン 詔薫 ↓リュウモンシヨウクン 龍門詔薫。

シヨウケンリンテイ 將軍臨邸 江戸開府以來將軍の前田氏邸に臨んだのは九回を數へる。即ち慶長十二年月日不詳秀忠が利長の江戸の旅館に臨んだこと。元和三年五月十三日秀忠が利常の辰口邸に臨んだこと。寛永六年四月廿六日家光が利常の神田邸に臨んだこと。同年四月廿九日前將軍秀忠が同邸に臨んだこと。寛永十五年二月十八日家光が同邸に臨んだこと。寛永十七年三月廿八日家光が同邸に臨んだこと。元祿十五年四月廿六日綱吉が綱紀の本郷邸に臨んだこと。文政十一年三月十三日家齊が齊泰夫人を本郷邸に訪うたこ

と。嘉永三年三月廿一日家慶が同夫人を訪うたことで、後の二回は御通拔と稱するものであつた。

ジヨウケイ 靜繼 鳳至郡石休場眞宗東派照福寺の僧。圓通院と稱し、玄風と號した。寮司に進み、文久三年八月廿五日五十九歳を以て寂。同寺は後に前田氏を稱する。

シヨウケツジ 松月寺 金澤野田寺町に在つて、曹洞宗に屬し、瑞龜山と稱する。文祿二年齋藤刑部が、白峰和尚の爲越前に於いて創めた寺であるが、前田利家入國の後金澤に移り、刑部から請うて小立野に造營し、元和元年今の地に轉じた。當寺境内に有名な老櫻があり、大櫻とも御殿櫻ともいふ。中興至岸和尚が前田利常から小松城の中庭にあつたものを拜領したと傳へるのは、必ず根據のあることであらう。室直清が遊松月寺看櫻花の詩に、『古寺尋春春已殘。白櫻開盡倚欄干。珠林富畫雲長生。香閣引風雪未寒。樹下人誇冠玉美。佛前僧作雨花看。晚來遊客未歸去。猶有夕陽照繡鞍。』とある。

シヨウケン 尙玄 日蓮宗の僧。何許の人なるかを傳へぬ。永仁中日像の石川郡大野に鋤を留めた時、僧侶の來つて歸依するもの多く、遂に寺を造つてその地を表せんと企てた。日像即ち曼荼羅を圖して之を本尊となさしめ、妙正寺の勝を興へた。是に於いて尙玄阿闍梨は力を盡くして工事を督し、成るに及んで山號を精進山といふた。この寺は天正中兵燹に罹つて廢滅し、元和元年日條之を金澤に再營した。

シヨウケン 照玄 ↓チトウシヨウケン 智燈照玄。

シヨウケンアン 松源庵 金澤泉寺町禪宗法燈派國泰寺の塔頭であつたが、今廢して存せぬ。

シヨウケンイン 松現院 大聖寺藩主第十二代前田利義夫人前田氏の法號。詳しくは松現院妙嶺日榮大姉。

シヨウケンキリヤク 象賢紀略 一冊。原名は利長公御代のおぼえ書。別名村井勘十郎筆記。村井勘十郎(後又兵衛)長明の筆記を、その子勘十郎長時から前田綱紀に提出したもので、著者は初め利家に仕へ、後大聖寺藩臣となつた人である。内容は利家の薨去から利長が太田但馬長知を殺害するまで、慶長四年乃至七年の事實を記してゐる。象賢紀略の外題は、亞相公御夜話を陳善録といふが如く、綱紀の命名にかゝるのであらう。

シヨウケンジ 正賢寺 能美郡能美に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年十二月寺號の公稱を許された。

シヨウケンジ 少玄寺 金澤常磐町に在つて、日蓮宗に屬する。明治十七年創立の許可を得た。

ジヨウケンジ 淨顯寺 鹿島郡金丸に在つて、眞宗西派に屬する。

ジヨウケンジ 淨源寺 羽咋郡上棚に在つて、眞宗東派に屬する。

ジヨウケンチブギヨウ 定檢地奉行 寛永四年以前に出野多門・岡田次郎左衛門・矢野孫右衛門等が之を勤めた。その後數人あり、興力から勤めたものもある。次いで萬治三年兼松主馬・青木治右衛門、その後嶺吉之丞・河合治兵衛、延寶八年には猪俣豊右衛門、天和二年には千秋傳左衛門が命ぜられ、元祿末年か

らは十人となつて連綿する。

シヨウコウ 詔興 ↓ウンタクシヨウコウ 雲澤詔興。

シヨウコウイン 昌光院 加賀藩主第五代前田綱紀の養女で、鶴岡侯酒井忠容夫人となつた寵姫の法號。詳しくは昌光院永譽智哲妙心大姉。

ジヨウコウイン 定光院 石川郡大乘寺の塔頭で、延慶二年徹通の創立したもの。後年廢せられたが、大正元年同郡大野に再興して尼寺とした。

ジヨウコウイン 淨香院 大聖寺藩主第九代前田利之の子某の法號。詳しくは淨香院玉蓮妙華嬰亡。

シヨウコウジ 勝光寺 江沼郡打越に在つて、眞宗西派に屬する。山號は弓波山。初め之を弓波に創立し、後水田丸に移つたが、東西分離の際、寺主祐賢の二子祐賢は打越に轉じて當寺を立てた。

シヨウコウジ 勝光寺 能美郡小松東町に在つて、眞宗東派に屬する。初め江沼郡弓波に在り、次いで水田丸に移つたが、東西分離の際寺主祐賢の長子祐欽は東派に屬し、慶長元年今の地に移つた。

シヨウコウジ 正光寺 金澤五寶町に在つて、眞宗西派に屬する。

シヨウコウジ 正光寺 能美郡上牧にあつて、眞宗東派に屬する。山號は翫月山。